



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 3
令和7年 5月 16日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいだみ 人と和す
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

日々変わる天気予報。自然には抗うことはできないですね。 教室での学びと体験、生活がつながる学びが、生きて働く力になります。

5月とはいえ、寒かったり、急に暑くなったりするなど体調を崩す子どもも増えています。大人もどんよりしてしまうこともあります。昨年までは校報3号で運動会の様子をお知らせしていました。今年は11日に行う予定の運動会を18日に延期しましたが、日々天気予報が変わり判断に迷っているところです。天気と相談しながら抗わず、判断し作業している農家さんの苦労が身にしみる今日この頃です。

子どもたちは、朝、登校班などで元気に登校してきます。私にはとても元気にあいさつしてくれますが、家庭や地域ではどうでしょうか？登下校を見守って心配してくれている方々にも爽やかなあいさつが届いていればいいなと思います。登校すると「蜂や虫がたくさんいたよ。」「毛虫が怖かったよ。気持ち悪かったよ。」などいろんなことを教えてくれます。「蜂に刺されないように安全に登校してね。」と話しています。その後、自分たちが植えたジャガイモ、へちま、ホウセンカなどに水を掛けながら観察しています。かえるや虫を発見して季節の移り変わりを感じているようです。理科の先生も見に来ているので早朝から学びが始まっています。教室の学びと体験がつながる第五小の環境が子どもを成長させるのだと思います。

幼保小連携「架け橋プログラムモデル作成と発表」について

5月13日に二ツ井庁舎で昨年から取り組んできた第五小東能代幼稚園架け橋プログラム作成について発表してきました。全国の幼稚園保育園と小学校のつなぎの部分がスムーズに行われるように取組が行われており、能代市から依頼されたものです。以前から五小と東能代幼稚園は連携しており、今までの取組を整理し、無理なく、効果があるものにしようと1、2年担任と幼稚園職員が実践しながらモデルを作成しました。児童と園児の交流の他に、幼稚園職員が小学校の運動会、PTA授業参観、研究授業に参加したり、小学校職員が研究会参加、職場体験を実施したりするなど理解が深まりました。まとめ役だった武田副園長、金谷主幹、教頭と4人で発表を終え、さらなる充実と他校への拡がりを願っているところです。

今年も好評だった担任以外の読み聞かせ

今年も五小職員はチーム五小として一人一人を全職員で支えるために、関わっていきこうと張り切っています。自分の学級だけではなく、全ての子どもと接する機会となる読み聞かせも大切な時間です。聞いている子どもたちの表情がとても良く温かさを感じます。



今、求められる「円滑な接続」とは

※交流活動や情報交換などの連携から
子どもの育ちを反映させた教育課程

どんな園に
育ってきたの？



どんな子どもに
育てたいの？



どのように
育つの？

①双方の研究授業・公開保育へ参加 研究会で発言



校長・教頭幼稚園へ。
話す、聞く、ルール
先生の表情がいい！



校長・教頭先生が市内
幼稚園の職員と一緒に
協議へ参加。